

子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい職場を！

「学校づくりアンケート」に寄せられた声から

尾北教務では、毎年、教職員向けの「子どもが輝く学校づくりアンケート」に取り組んでいます。今年度も、さまざまな声が寄せられています。アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介しながらそれぞれの課題について一緒に考えたいと思います。

授業づくり 学級づくり

- 授業規律は大切だと思います。でもそれは発達段階やクラスの実態に合わせて子ども達と担任が作っていくものであり、形式をそろえる必要はないと思います。
- 「指導方法の統一」を管理職から指示されることにより、おのおのが実態に応じて考えることを制限されると感じる。教育課程に基づいていけば、そこに至るアプローチの仕方は自由であるべきだ。
- 学びのルールや規律はそろえたほうがいいのですが、授業内の手立てなどは、その学級の児童の状態に合わせてのほうがいいと思います。
- 「学びのルールや規律に基づいた指導」は、児童が混乱しないためにも必要だと思つ。「指導方法の形式をそろえる」ことは、初心者の場合には必要。経験が豊富になつてくれば、自分なりのもの

をつかんで臨機応変にやっていけるようになるので、不要だと思つ。

- 「指導方法の形式を学校でそろえる」とよく言いますが、統一しすぎると先生方の個性がなくなり、息苦しくなってしまうと思つ。
- 授業づくりや学級づくりをする上である程度形式がそろっているとやりやすいと思つ。
- 低学年では、学習の姿勢や規律を学ぶためにルールに基づいた指導が必要な場面が多い。
- 教員の力不足が深刻な時、“そろえて”もらっているのは最低限の保障になる。全校統一した学びのルールづくりに取り組んでいるので、新年度からの指導がしやすい。
- 子どもの実態に合わせた指導は大切だが、まず一本学校で筋を通しておくべきだと思つ。積み重ねで力がついていくので、学校生活・学習への取り組み方など、基本的な部分は学校内で共通にしておく

よいと思つ。

- 形態や方法をそろえるのではなく、「本質」の部分をもっと見つけ磨いてほしい。
- 小学校と中学校では、いろいろと違いますが、学力重視であれば、学びの意欲が起るのを待っていただけませんか。中学は、分かる楽しさを知らない子が、多すぎます。基礎学力は大切です。
- 基礎基本を大切にしながら、学びの中でお互いを認め合える関係づくりも大切だと思つています。指導法の統一は学校内で特にありません。

- 子どもたちが学びに向かうのは、魅力的な教材、興味を持たせる導入、発問の工夫だと思つ。

道徳の教科化

- 教科化というのがどうしても理解できない。様々な価値観をどう評価するのか。特定の価値観の押しつけになるのでは。
- 良い評価がされる答えを見つけて子どもたちは目指してしまつと思つ。
- 担任への負担が増加することが予測される(特に評価)。どんどん現場は苦しくなるのでは。
- 道徳を教科にすることよりも子どもたちの自己肯定感を高める。学校生活全体で子どもたちへの支援が大切だと思つます。それが市民道徳のベースだと思つます。
- 道徳は、日々の生活の中で育まれていくものなので、授業として子どもたちの心を育てていくことは必要だと思つが、教科化する必要性は感じない。評価しても、みんな同じような評価になりかねない。

全国学力テスト テスト対策？

- できればやめてほしい。人間の良心は評価できない。
- 教科化するべきではないと思つ。心は評価するものではない。
- 子どもに心を見つめさせるだけではなく社会に出ていく上での規範を教えることは必要。数値化するのでは絶対反対。
- 上からの押しつけや子どもへの教え込みが強まり心情を大切にしない方向に行くことが心配。
- 目の前にいる生徒に合った資料などを使って指導するのが望ましいと思つ。
- 過去問題を練習しては、本来の目的からはずれると思つ。ただ、なぜそうなるかを考え、テスト対策をさせる背景(世間からの評価)から改めるべきだと思つ。
- テストの点を一時的に上げるための対策であれば、実施しない方がよいと思つ。
- 過去問の練習では、解き方の練習で、真の実力を評価するものにならない。
- 事前対策は、テストをゆがめるものであるし、このテストの欠陥でもあると思つ。
- 4月のクラスも落ち着いていない中で、他に取り組むことを優先すべき。過去の練習で、通常の授業ができないのは問題である。
- 学びの結果を測ることにテストをすることは間違いではありませんが、結果の公表からテスト対策。おかしなことです。

- テストの点を上げるためでは意味がない。基本的な学力を測るものでなくてはと思う。
- 相対評価（順位）は際限ない競争をおおる。現場に「何かしろ」と言われたら（国・県・市・親から）、過去問題をさせるしかない。

時間外勤務の 割り振り

- 時間外勤務と同じだけ割り振りがほしい。割り振りは、各自の都合に合わせてとれるようにしてほしい。（忙しいときに割り振りを言われても、帰れない）
- 割り振りは何分間の割り振りがありませんとしっかり言ってほしい。
- 「とってくださいね」と言われるが、申し出にくく年休にしてしまいます。
- 割り振り変更簿が必要。時間を過ぎても何のこともわりもなく会議が続き、割り振りの指示もないのはおかしい。
- 割り振り変更簿があると、個人の都合でとりやすい。
- きちんと分かる形で示してほしい。
- 休憩時間は全くないので、割り振りをしっかりいただきたい。
- 仕事が多くて、とりたくてもとれないところか、休日勤務が常態化している。

勤務時間や 休憩時間など

- 7時50分から16時15分まで、ノンストップの勤務で、トイレに行く時間も自由にとれないことも多い現状です。休憩時間が取れないことをふまえて、週

1回でよいので時間を繰り上げて勤務を解いてほしい。

- 打ち合わせを16時45分からやっています。昼の集会が月に1〜2回計画されています。勤務時間や休憩時間の意識が低い職場だと思っています。
- 部活動の指導など、時間外なことが多い。休みはほしい。

- 本当に必要なときに（病気や家族のこと）、嫌な顔をされずに休みを取ることができると望ましいと思う。
- 休憩といわれても、職員室では休める環境ではないし、休憩スペースもない。だったらその分早く帰ってよいことにしてほしい。そうすれば家のことがやりやすい。

- 年休が思うようにとれない。無理して勤務も多々ある。
- 自分も若いころ休んだことがあるので、お互いカバーし合わなければと思えます。

- 年休や割り振りが取りやすい職場環境になるといいと思う。

教職員の 健康問題

- 教職員にかかる心身の疲労は深刻化していると思う。朝から晩まで息つくひまがないので、業務内容を軽減したり、体制を見直したりしてほしい。
- みんなストレスがたまっているし、何日か続けて休まれていた先生を見ると心配になる。
- 調子が悪くても病院に行く時間がとれず、市販薬をとりあえず飲んで、ひどくなつてから通院というパターン多いのが現状です。
- 児童や保護者のことで困っていたり悩

んでいたりしたときに、あたたかく聞いてくれたり助けてくれたりする職場の雰囲気大切。それを管理職には心がけてほしい。

- 困っているときに「助けて！」と叫びやすい職場が必要だと思う。
- 休日をしっかりととり、普段も遅くまで残らず、早く帰宅する職員室の雰囲気づくりが大切だと思う。

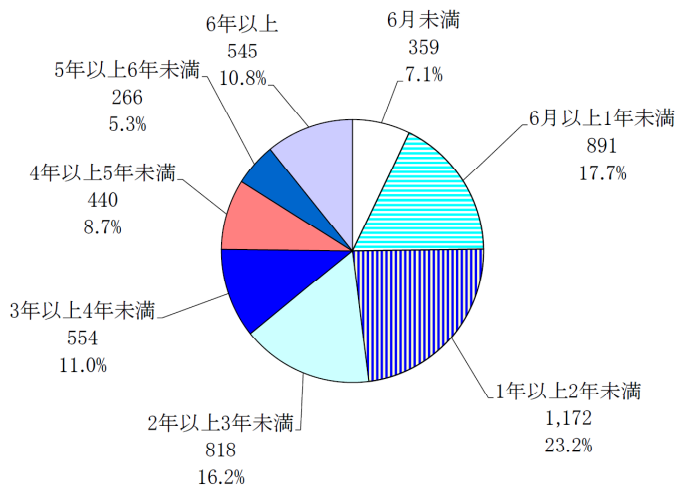
- 多くの教員が毎日、栄養ドリンクを飲んでいて話聞きます。休みが必要だと思えます。部活動は、外部の指導者が行ってほしいです。
- 休日にきちんと休めるように、部活動指導の負担軽減の手だてを立ててほしい。

- 絶対的に仕事量が多い。1クラスの人数を減らせば仕事量は減ると思う。早急に！。子どもたちのためにも。
- 教員の自由な発想に基づく教育活動（もちろん教育課程の中で）を良しとする雰囲気を作る。

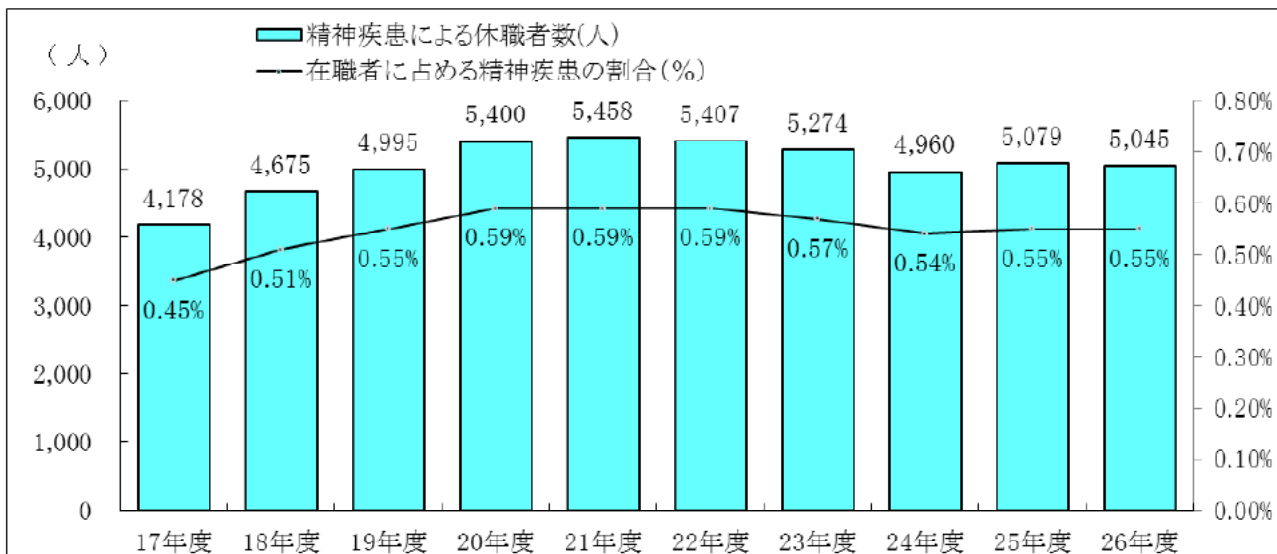
約半数が、2年以内に発症…休職…

精神疾患による休職者

所属校における勤務年数（H27文科省調査）



※教育職員の精神疾患による病気休職者数等の推移（平成17年度～平成26年度）



あいかわらず多い
精神疾患による休職…
H27文科省調査